

かみね 議会だより

175号

●平成27年 第3回定例会(9月)

P2~6 こんなことが決まりました

P7~13 そこが聞きたい(一般質問)

P14 議会活動

町民体力づくり体育大会

平成27年10月11日に中央公園で開催されました。



平成27年9月
定例会で

こんな
ことが

決まりました

防災行政無線の契約
締結など

11議案を可決！

平成27年第3回定例会は、9月4日から9月11日の8日間の会期で開催し、条例の改正、補正予算など慎重に審議し原案どおり可決しました。また、大川議長の辞職に伴う、議長・副議長選挙が行われました。



原田 希

副議長



碓 勝征

議長

議長選挙は、碓議員以外の立候補が無かったため、指名推薦となりました。
副議長選挙は、寺崎議員、原田議員の立候補があり、本会議場にて、それぞれの所信を聞いた後、投票となり、同数のため、くじ引きにより、原田議員が選任されました。

議会運営委員会

委員長 寺崎 太彦 副委員長 漆原 悦子
委員 原田 希、吉富 隆

総務厚生常任委員会

委員長 漆原 悦子 副委員長 吉田 豊
委員 大川 隆城、吉富 隆、碓 勝征

振興常任委員会

委員長 寺崎 太彦 副委員長 向井 正
委員 井上 正宣、田中 静雄、原田 希

議長あいさつ

議長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。私は町民代表の議員として、言動一致で議会活動をなし、誠心誠意をもって、議会運営にあたります。公開の原則に基づいて、大いに議論し町政発展のために奉職致しますので、町民の皆様のご指導・ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

手数料徴収条例の一部改正

賛成 全員

マイナンバー制度の導入により発行される次のカードの再発行手数料を追加するものです。

● 通知カード 500円/件

● 個人番号カード 800円/件

防災行政無線施設(同報系)整備事業の請負契約の締結

賛成 全員

親局を役場に1か所、屋外拡声子局を町内に26か所設置。防災能力を飛躍的に向上させる事業です。

● 請負金額…

2億1236万6000円

● 契約の方法…指名競争入札

● 契約の相手方…

西日本電信電話株式会社

佐賀支店

上峰町議会会議規則の一部改正

賛成 全員

議会における欠席の届出の取り扱いに關して、出産の場合の届出について新たに規定するものです。

平成26年度一般会計及び各種特別会計の決算

平成26年度の決算認定は決算特別委員会を設置し、閉会中に審議することになりました。

● 一般会計

● 国民健康保険特別会計

● 後期高齢者医療特別会計

● 土地取得特別会計

● 農業集落排水特別会計

地方創生の取組み 追加採択!!

地方創生交付金の県交付分を原資とし、「地域の維持や活性化を目指し、住民が自ら考え実行する」取組みを支援する「さが段階チャレンジ交付金事業」に、さきに採択された7事業に加え、つぎの5事業が採択されました。

事業名	事業概要 (事業主体)
上峰町太古木 (天然記念物) をイメージした名物菓子の開発と販売	上峰町で発掘された古代大木のストーリーや町の特産品を活かし、パッケージデザイン・ネーミングにこだわったお菓子を商品として開発。(地域住民、上峰町社会福祉協議会)
掘り出せ! 上峰町の魅力! 全国動画配信!	上峰町の自然・伝統・歴史・文化・イベント・特産品など町の魅力を掘り出し、取材・撮影・編集を行い短編動画を制作し、広く全国へ配信。(上峰町魅力発掘創造隊)
切通地区世代間交流による地域活性化事業	陶芸教室、ニジマスつかみ取り、しめ縄づくりなどの地区行事を、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加を得て進めることで、地域の一体感を高める。(切通分館、子どもクラブ、老人クラブ)
“ ^{つ き め か お う ぼ} 陵墓—都紀女加王墓”環境美化活動をおとしたコミュニティづくり	県内唯一の陵墓である都紀女加王墓と隣接する古墳公園の除草・清掃活動をおこない、町民の憩いの場を作る。また、歴史的価値や存在を町内外にPR。(都紀女加王墓と古墳公園を守る奉仕団)
ニュースポーツ・レクリエーション元気アップ交流事業	講師の指導のもと、誰もが気軽に楽しめる運動プログラムを作成し、参加者の体力向上を図る。また、世代間の交流を図ることにより、コミュニティの輪を広げる。(下坊所地区軽スポーツ愛好会)

国に対し

意見書を提出!!

地方財政の充実・強化を求める意見書

賛成 全員

地方自治体は、子育て支援、医療、介護など新たな政策課題に直面している。しかし一方、地方公務員をはじめ人材が減少するなか、公共サービスを担う人材確保が喫緊の課題である。

しかし、経済財政諮問会議においては、社会保障と地方財政が二大ターゲットとされ、歳出削減にむけた議論が進められている。

このため、2016年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政ではなく、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとし

ての社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すことが重要である。次の事項を要望する。

1. 社会保障、被災地復興、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。

2. 子ども・子育て新制度、地域医療構想の策定、地域包括生活ケアシステム、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、社会保障予算の確保と地方財政措置を的確に行う

こと。

3. 復興交付金、震災復興特別交付税などの復興に係る財源措置については、復興集中期間終了後の2016年度以降も継続すること。また、2015年度の国勢調査を踏まえ、地方交付税算定のあり方を検討すること。

4. 法人実効税率の見直し、自動車取得税の廃止など各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政に与える影響を十分検証したうえで、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないように対応すること。

5. 地方財政計画に計上されている「歳出特別枠」及び「まち・ひと・しごと創生事業費」については、自治体の

財政運営に不可欠な財源となっていることから、現行水準を確保し、臨時・一時的な財源から恒久的財源へと転換を図ること。

6. 地方交付税の財源

保障機能・財政調整機能の強化を図り、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要の把握、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を講じること。

少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

賛成 全員

日本は、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多く、第7次教職員定数改善計画の完成後9年もの間、国による改善計画のない状況が続く、自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要である。新しい学習指導要領により、授業時

数や指導内容が増加し、日本語指導などが必要とする子どもたちや障害のある子どもたちへの対応、いじめ・不登校などの課題もある。

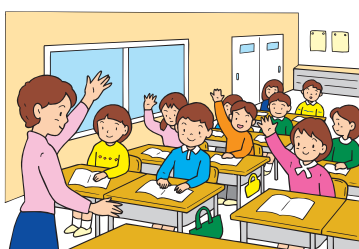
独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきである。

また、三位一体改革により義務教育費国庫負担制度の負担割合が

2分の1から3分の1に引き下げられている。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。次の事項を要望する。

1. 子どもたちの教育環境改善のために、少人数学級の推進を含む教職員定数改善を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の1に還元すること。



平成27年度 **補**正予算

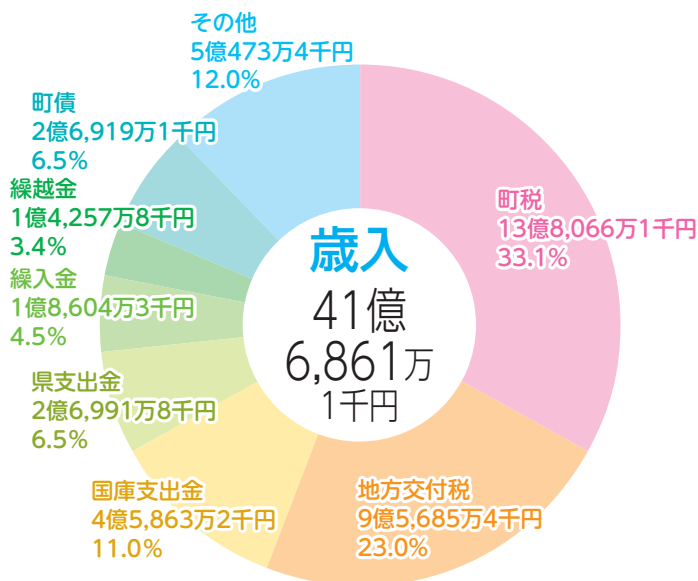
3億5,667万5千円増額して、総額41億6,861万1千円となる。

一般会計

本会期までの累計

歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

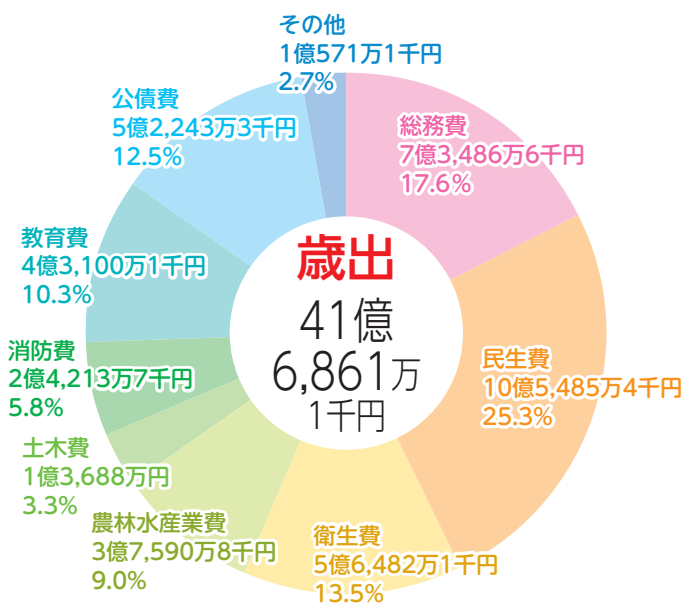
◎ふるさと納税寄付金	1億200万円
◎財政調整基金から繰入金	772万4千円
◎地方交付税	1億153万5千円
◎県支出金	
・さが段階チャレンジ交付金	514万6千円
◎前年度からの繰越金	9,257万8千円
◎前年度介護保険負担金精算金	778万6千円
◎町債	
・臨時財政対策債	3,707万8千円



歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

◎ふるさと納税謝礼等経費	7,208万4千円
◎税還付金	700万円
◎公会計システム整備費	321万4千円
◎基金積立金	
・財政調整基金	7,200万円
・公共施設整備基金	300万円
◎地域公共交通活性化協議会補助金	631万6千円
◎町道補修工事費	300万円
◎さが段階チャレンジ交付金を活用した事業への補助金	593万6千円

(詳細は3ページに記載)



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計

2,671万8千円を増額し、10億6,724万2千円となる

後期高齢者医療特別会計

515万3千円を減額し、9,198万2千円となる

土地取得特別会計

161万5千円を増額し、162万9千円となる

農業集落排水特別会計

9,530万8千円を増額し、6億7,396万6千円となる

平成27年 第2回臨時会・第3回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			向井正	吉田豊	田中静雄	原田希	寺崎太彦	漆原悦子	井上正宣	吉富隆	碓勝征
○は賛成　×は反対											
41	平成27年度上峰町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	上峰町総合計画審議会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	上峰町国際交流推進委員会の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	上峰町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成27年度上峰町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	平成27年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成27年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成27年度上峰町土地取得特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	平成27年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	上峰町防災行政無線施設（同報系）整備事業の請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	上峰町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成27年度上峰町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
－	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
－	少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。（過半数議決の場合）

議会を 傍聴してみませんか

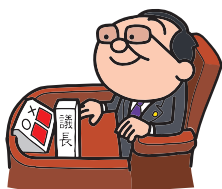
毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。

次回の定例会の会期は、12月11日（金）から18日（金）までを予定しています。

一般質問は14日（月）

および15日（火）です。

詳しい日程は町ホームページでご確認ください。



議長交際費の支出状況（平成27年度上半期）

区分	支出金額	支出内容
会費	5,000円	上峰町遺族会懇談会
//	3,000円	知事・市町議会議長懇談会
記念品	12,289円	韓国ヨジユ市から訪問
お祝	5,000円	上峰町自衛隊父兄会総会
//	10,000円	上峰町近圏少年剣道錬成大会
お礼	6,480円	県選出国会議員への陳情
支援金	5,000円	原水爆禁止世界大会
献花	10,000円	上峰町戦没者慰霊祭
合計	56,769円	

一般質問

そこが聞きたい！

問 子育て支援策は

答 実施の方向で検討

問 出生祝金の創設は。

答 住民課長 第3子以降の児童が同居する多子世帯に支援する。

問 タブレット端末購入助成は。

答 教委事務局長 中学校の卒業祝金という形で検討する。

問 高校生までの医療費助成の拡大は。

答 住民課長 財政当局と協議し、早期実施に向けて検討する。

問 12月定例会には、助成案を提案できるように進めよ。

答 住民課長 次期定例会に向けて、実施の方向で検討する。



吉田 豊 議員

問 定住化支援策は

答 6次産業化による雇用創出

問

地方創生の主管課長として私的見解でも良いので、どのような考えでいるか。

答

創生室長 民間活力による定住促進の方策を練る。子育て支援については、



前牟田地区の田園ゾーン

町の実態について魅力のアピールして、上峰町の人口を減らさない。若干減るのは紛れもない事実だが、それをいかに少なくしていくか方策を練っていききたい。

問 就業人口の増加を図るということは企業誘致も考えているということか。

答 創生室長 所有している資産が無いので、企業誘致については控えている。6次産業化による雇用の創出を考えている。

問 集落間の人口比の平準化は。

答 創生室長 大字坊所地区ばかり増えていることは承知している。

問 なぜそうなるか。

答 創生室長 宅地開発ができる農地が坊所地区に多い。前牟田、江迎地区では農振地域内ということ

で宅地化が難しい。第4次総合計画において、大字堤地区は自然環境保全ゾーン、中心部を居住ゾーン、前牟田・江迎地区は田園ゾーンに区分された土地利用方針が定められている。

問 各行政区の人口を比較すると約23倍の開きがある。これを是正するには、農振地域の見直しが必要だと思うが。

答 創生室長 部分的には可能かと思うが、神埼北茂安線より南は難しいと思う。

ほかに

- 高齢者の生きがい対策は
- 認知症予防対策は
- 農業振興対策は
- 農業経営者の勉強会は
- 定員管理計画は
- 防犯パトロールは



寺崎 太彦 議員

問 学校の楽器の修理、更新は

答 定期的に更新

問 小・中学校の楽器の修理、更新は。

答 教委事務局長 小

学校では、167個で購入価格約775万円の楽器がある。平成26年度は、約3万円の修理をし、新規購入はオルガンの約110万円である。

中学校では、140個で購入価格1,395万円の楽器があり、修理は約25万円程度を支出している。新規購入は、平成26年度はティンパニーな

合には、楽器を引き揚げなければならぬのではないかと。

答 教委事務局長 吹奏楽部がコンサートをするとき、楽器が古くて音が鳴らないという事態があった。また、コンサートレベルに達していない楽器があると、顧問の先生から聞いている。

合には、楽器を引き揚げなければならぬのではないかと。

答 教育長 一部の楽器を借用している。

問 楽器の状態悪化は日頃の取り扱い、メンテナンスで防ぐことができるが、指導は。

答 教育長 楽器の手入れが非常に大事で、消耗品は交換している。楽器の管理は担当を決めて、先生の指導のもとで管

合には、楽器を引き揚げなければならぬのではないかと。

問 プレミアム商品券の販売は

答 混雑がないようにする

問 商品券の販売前に行列ができ、混乱したが対策は。

答 産業課長 販売時間をもとめ、販売員やガードマンなどのスタッフを増員し、前回のようないく。

問 高齢者など、長い間並べない方や、買いに行けない方への対策は。

答 産業課長 売り場に来てもらうのが基本です。いすを準備するなど、疲れのないような対応をしていく。

理している。

問 ふるさと納税の学童教育振興のための事業で対応できないのか。

答 教育長 検討する。



修理・更新が必要な楽器（中学校）

問 屋外広告物条例による影響は

答 申請手数料が発生している

問 町内の事業者への影響は。

答 創生室長 広告物について、申請許可および申請手数料が必要である。

問 全ての広告物に規制をするのではなく、景観を守るためのルールを定めるべ

きではないか。

答 創生室長 言われたとおりである。県へ伝えていく。

ほかに

○人事評価制度の導入は
○夏休み短縮や土曜授業は
○機能別消防団員の導入は

問 空き家対策・特産品開発は

答 協議会を立ち上げる

問 空き家対策を今後
どういう形で進め
ていくのか。

答 住民課長 年内に
は協議会を立ち上
げ、その後空き家対
策を講じ、早ければ
3月以降に立ち入り
調査をしたい。

問 町の特産品開発は
進んでいるか。

答 産業課長 商工会
女性部のツバキ油
の活用事業、社会福
祉協議会の太古木を
イメージした名物菓
子の開発など進んで



井上 正宣 議員

いる。

問 それはいつ頃でき
るのか。

答 産業課長 この事
業により製品化さ
れた産品は、来年3
月までにはお目見え
するのを期待してい
る。

問 神埼・北茂安線の 早期開通は

答 進捗するよう努める

問 神埼から北茂安
「豆津」まで開通
すれば、車で十分程、
そうなれば消防車、
救急車、パトロール
車などが非常に有効
に活用できる。町長
は促進期成会に出席
された時には、ぜひ
吉野ヶ里町、神崎市
に働きかけていただ
きたい。

答 建設課長 現在、
中村工区の水路整
備、九丁分工区の道
路のり面の防草工事



工事中の県道神埼北茂安線

問 今後人口は増えるのか

答 人口構成が大切

問 上峰町は佐賀、鳥
栖、久留米の中心
的な所にあり、災害
が少ない町で近隣に
は病院、商業施設も
あり、上下水道が完
備されている。人口
は今後、増えるのか。

答 町長 佐賀県にお
いて最もコンパク
トな形を維持しなが
ら、かつ遠隔地には
小さな拠点が整備さ
れ、にぎわいがつく
られ、暮らしやすさ
が実感できるスマー
トタウン化を進め、
佐賀県で最も情報公
開が進み、財政規律
の整った町を目指し
ていければと思っ
ている。

私は人口構成が最
も大切だと思っ
て

いる。若い生産世代
が関心を持っている
ハードの整備、また、
そういう産業集団を
つくっていかねばと
考えている。

問 青少年育成と指導
者、高齢者の活用
の取り組みはどうか。

答 教委事務局長 年
間を通じて青少年
育成地区懇談会、青
少年育成サマーキャ
ンプ、青少年育成講
演会、パトロールや
地域点検活動など多
くの取り組みをして
いる。



一般質問



漆原 悦子 議員

問 学校安全パトロールは

答 教育委員会で対応

問 校内パトロールの進捗状況および青少年サポーター登録者の報告を。

答 教育長 分館長に7月の青少年地区懇談会で、青少年サポーター登録名簿の再確認と新規申込者の依頼をしている。

問 報告は9月議会とになっていたか。

答 教育長 今議会で報告できなかったことは申し訳ない。いましばらく猶予を頂きたい。分館長には、できるだけ早くとお願い

しているが、青少年サポーターは地域の見守りでお願いしているの、校内パトロールは別の話とさせていた

答 町長 平成16年から始まった青

少年サポーター、地域のおじちゃん・おばちゃん事業は全国運動で、団体の運営ではなく挨拶を心がける・腕章や旗



学校安全パトロール（小学校）

を掲示し啓発する緩やかな運動である。モデル地区と推進地区を決め、上坊所地区のKSSPの皆様に町民会議から補助金を拠出している。教育長は学校の校内パトロールとは別事業と位置づけられているので、教育委員会から輪が大きく広がるように、呼びかけ・後方支援の働きをしていただくようお願いをしている。と思います。

問 災害時高齢者支援は

答 自主避難は隣近所で協力を

問 独居老人・高齢者への台風など災害時の連絡および避難場所への移動手段は。

答 総務課長 風水害対策時の避難連絡

は、町が自主避難所開設決定後におたつしゃ館で対応。併せて各区分より放送で開設を広報、必要な方には個別連絡をお願いしている。消防団は消防車で広報。総務課でエリアメール発信・ホームページへの掲載。健康福祉課より民生委員へ周知の連絡をしている。自主避難所のおたつしゃ館では、昼間2名・夜間3名の職員が常駐し対応している。



避難誘導訓練（グループホームさくらんぼ）

はされているのか。

答 健康福祉課長 防災計画では、自主

避難は災害発生の危険性を感じるか危険と判断した場合など、隣近所で声をかけあって自主的に避難するよう心がけるとなっている。

ほかに

○いじめ、不登校の現状と対策は
○三上開拓線道路整備は

民生委員には、避難難告から要支援者に個別連絡をしてもらう。災害台帳があるが協力員の未登録もあるので、要援護者・協力員の再登録を今年度中に検討したいと思っている。

問 いじめの対応・対策は

答 全職員で取り組む

問 岩手県でいじめにより、中学生が自らの命を絶つ事件が起き、いじめ対策が見直されているが、当町の小・中学校では、いじめ問題は起きていないか。

答 教委事務局長 平成25年に1件の事案があったが、その後、小・中学校でのいじめ報告はない。

問 学校でのいじめは根絶できないというが、上峰小・中学校でのいじめに対する対応・対策は。

答 教委事務局長 いじめ問題が生じた場合、校長をはじめとし、それぞれの教師の役割を明確にするとともに、改善策を講じ、継続的指導に努める。

問 いじめに対する情報共有体制はできているか。

答 教育長 一部の先生が問題を抱えて対応していくことではなく、学校の対策委員会を立ち上げ対応していく。

問 オンライン英会話授業の状況は

答 5年生まで拡大を検討

問 2020年より小学校でも英語の教科導入が決まり、それに先駆け、6年生に対し、外国人講師とのマンツーマン英会話授業が始まったが、英会話授業の進め方は。

答 教委事務局長 これまでの6年生の英会話学習は、児童1人につきALTとの直接会話は1分程度だったが、今回のオンライン・マンツーマン英会話は、15分間の会話時間を確保でき、ヘッド・セットをつけ、画面に集中した丁寧なやり取りが可能になった。なお、英会話授業は週1回、2学期、3学期で20回行う。

問 中学へ進んでも、継続を希望する生徒への対応は。

答 教育長 業者への連絡は可能。本人・家族の希望という形で、個別の継続はよいと思う。

問 今後、5年生からの取り組みの考えは。

答 副町長 今年度の取り組みで、しっかりと評価をして、成果を導き出した上で、5年生まで広げられる方向で進めたい。

問 キャンプ場の環境整備は

答 UFOテントは撤去

問 鎮西山のキャンプ場施設は老朽化が進んでいるので、処分制限後は撤去等検討すべきでは。

答 教委事務局長 UFOテントの撤去については、担当課としては、早急に撤去したいと考えている。

問 今後の利活用の考えは。

答 教育長 町民の皆様の知恵をいただき、キャンプ場周辺を美しく、そして利用価値のあるような、登山をしていて気持ちいいと思える環境にしたい。



オンライン英会話（小学校）



向井 正 議員

一般質問



田中 静雄 議員

問 町内の防災対策は

答 順次、進める方向で検討

問 大字坊所地区は住宅建設が進み、地域によっては消火栓がない。道幅が狭く火災になったら大変だと心配されている。町内全域に渡って消火栓、防火水槽等のインフラ整備が遅れているのではないか。

答 総務課長 人口規模で見ても上峰町が劣っている状況ではない。消火栓の設置についても管径等の制約があるが、消防水利の充実に気を配って整備していく必要があると考え、今年度も予算を計上している。



消火栓ボックス

問 全戸一灯運動の進捗状況は

答 運動の推進啓発に取り組む

問 一戸一灯から全戸一灯運動になったが、役場の横断幕もなく運動として活動しているのか疑問に思う。PRが不足しているのでは。行政としての認識は。

答 総務課長 一戸一灯運動が定着し、平成22年度から全戸一灯運動に移行したが、住民への働きかけが弱かった。今後、積極的にこの制度に対し協力とお願いをしたいと考えている。

問 西峰東西2号線の街灯設置の考えは

答 順次設置していく

問 西峰東西2号線周辺の夜間は真っ暗で、青少年育成地区懇談会でも街灯設置の要望があった。保護者は子供が学校から家に帰り着くまで心配されている。街灯設置の考えは。

答 町長 西峰東西2号線の街路灯設置の考えはもちろん、この2号線以外にも必要な所は設置していく考えである。

問 中学校体育館北側道路側溝の安全対策は

答 協議し進めたい

問 中学校体育館北側の道路は通学路であり、下校時は一斉に帰宅するため、歩行者、自転車及び車両で混雑し、お互いに避け合いながら通行している状態である。生徒達の安全を

答 建設課長 通学路の確保するための対策の考えは。としては危険な状況と認識している。土地改良区、地元との協議を重ねたいと考えている。



中学校体育館北側の側溝

ほかに

- 街路灯のLED照明導入について
- 防犯カメラの増設計画について
- 中学生の自転車通学の範囲拡大について

問 古墳公園の維持管理は

答 シルバー人材センターへ委託

問 御陵公園から古墳公園へ名称が変わり、この間平成24年9月より要望を行い、

皇族の御陵である都紀女加王墓と古墳公園の存在のPRと整備を求めた。結果、公園内の整備、フェンスの張替、出入口3か所整備、簡易トイレ設置、御陵と公園の案内板等が設置された。公園前のバス停名称変更「坊所」から「都紀女加王墓前」へバス会社へ変

更手続き中。今後の古墳公園の維持管理は。

答 文化課長 シルバー人材センター

へ作業委託し、下草の伐採、植え込みの剪定等を実施。

県実施の、さが段階チャレンジ交付金事業に地域住民団体が提案された「都紀女加王墓と古墳公園を守る奉仕団」の草刈り・清掃などの環境美化ボランティア活動が採択された。

活動に係る事業の町補助金を今議会に計上しており、10月から作業実施予定である。

問 陵墓・古墳公園は、イオン前県道沿いのメーン通りにある、

応神天皇のひ孫にあたる

「都紀女加王」の陵墓である。奉仕団が、

町の宝として守り、公園内等の環境美化活動（除草、

清掃、季節の花々植栽等）

問 請願道路の経緯は

答 関係道路と合わせて計画検討

問 変則五差路請願の理由は。

・交差点内に鋭角地があり見通し悪く危険。

が予定されているが、緑の基金の活用はできないか。

答 産業課長 地区からの要望に対して

の事業だが、団体も対象になるか、調査したい。



古墳公園

学福祉バスが病院へ運行できない。・町の避難道路にたどり着くまでが、困難。

非常に危険をはらんだ町道、しかも4本の町道が交差している長年の懸案道路だ。更に東の県道からの抜け道として、朝夕の通行量が多い危険道路である。

この請願に伴い、町内外の374名の賛同もあり、加えて町内地域周辺からも、まだできないのか、との声が多い。その後の進捗は。

答 建設課長 補助率

の高い防衛省補助事業の考えは変わらない。この変則五差路整備だけの防衛の補助採択はきびしいので、この交差点を含む町道下津毛三田川線と三上北の南北1号線を含めた「緊

急避難道整備計画」に向けて、九州防衛局・防衛省・国交省・地元国会議員等に要望を行った。

答 町長 今後も陳情、要望等を重ねながら、どのような路線が適当か、私共で判断していきたい。

要望 地域の住民が待望する長年の懸案道路だ、安心して通行できる町道改良を望む。



坊所・三上地区の変則五差路

ほかに

○固定資産台帳の整備について



がんばれ！上中 部活動紹介 2

サッカー部

顧問 松門寺・毛利先生

キャプテン (旧) 福島 聖人
(新) 日高皓一朗

サッカー部は「限界突破」をモットーとしていました。そんな僕たちの目標は「県中体連総合体育大会優勝」でした。僕たちは目標には届かなかったけど、県大会で3位に入ることができました。僕たちが県で3位に入れたのには、大きなきっかけがあります。それは地区中体連総合体育大会の決勝です。僕たちはそれまで地区大会なんて楽勝というイメージで練習に臨んでいました。



しかし、地区大会決勝で後半にあと一歩で負ける所まで追いつかれ、みんながこのままじゃだめだと思い、これ以降の練習が今までの練習の何倍も活気づきました。地区大会決勝であそまでの接戦になったから県でも戦えたんだと思います。県大会では僕たちより強いチームとの試合だったけど、僕たちが今までやってきた「限界突破」でベスト4まで勝ち上がることができました。僕たちは個々の能力は突出していないけど、みんなの力で3位に入ることができました。みんな本当にありがとう。

行事への参加

7月～9月

7月25日 上峰町サマーフェスタ2015
8月18日 目達原駐屯地との勉強会
8月22日 おたっしゃ館夏祭り
8月27日 上峰町戦没者慰霊祭
8月28日 県内全議員研修会
8月29日 野菊の里ふれあい夏まつり
8月30日 上峰町近圏少年剣道錬成大会
9月5日 上峰中学校体育大会

9月13日 上峰町敬老会
9月13日 野菊の里敬老の日式典



◀敬老会の町内最高齢者表彰

議会だより
編集／上峰町議会
編集委員 向井 正
委員 吉田 豊
委員 原田 希
副委員長 田中 静雄
委員長 寺崎 太彦

ラグビーの第8回W杯で、3勝を挙げた日本代表の歴史的な快進撃には、多くの感動をいただいた。南アフリカ戦の後半ロスタイムでは、同点を狙うのではなく、これまで弱点とされてきたスクラムを選択したことで逆転のトライが生まれた。町づくりにおいても、それぞれがしっかりと役割を担い、果たし、最終的にがっちりスクラムを組んでいくことが、これからの上峰町の基礎となるのではないだろうか、と感じた。
(原田)

あとがき